

第四次羽村市地域福祉計画 について（答申）

平成 24 年 12 月 26 日

羽村市地域福祉計画審議会

はじめに

今日において「地域のつながり」が強く求められているのは、高齢化の急速な進展、核家族化の進行や都市化の発展とともに家族や地域の絆が希薄化し、地域が自らの課題を主体的に解決していく「力」が失われつつあるからと考えられます。このような時代にあって、本審議会は市が策定する「第四次羽村市地域福祉計画」について、市長から諮問を受け審議を進めてきました。

審議にあたっては、地域福祉という抽象性の高い概念について、委員が共通した認識を持ち、地域においてそれぞれ活動をしている立場から多くの意見が出され、議論を深めました。

また、市が本計画の策定のために市民を対象として実施したアンケート調査の結果について、地域の声を伝える資料として精査・分析を行うとともに、第三次羽村市地域福祉計画の進捗状況や成果について事業の検証を行った上で、第四次の計画はどのようにあるべきかを検討しました。

審議会では、最近の社会状況を踏まえた意見が委員から多く寄せられました。特に「大災害の要援護者支援」「孤立させないための見守り」「買い物支援」「地域コミュニティの活性化」等については、活発な意見交換が行われました。

東日本大震災という未曾有の大震災を経験し「絆」「つながり」ということの大切さを誰もが実感している一方で、日常生活では他人とはあまり関わりたくない、干渉してほしくないという風潮が依然として見受けられ、地域コミュニティ活動に影響が及んでいます。

しかしながら、将来における少子高齢化の進行や、大震災への備えを考えたとき、「地域のつながり」という言葉がいかに大きな意味を持ち、日頃からの何気ない「近所づきあい」がとても重要であるということは言うまでもありません。

本審議会としては、市がこの答申を踏まえ、「地域で困っている人をみんなで支え合う、誰もが安心して暮らせる地域社会づくり」を目指して計画を策定されますよう、切に希望します。

平成24年12月26日

羽村市地域福祉計画審議会
会長 川村孝俊

目 次

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の背景	3
2 計画の位置付け	4
3 計画の期間	5
4 計画の策定体制	5

第2章 地域福祉をめぐる羽村市の現状と課題

1 人口・世帯の推移からみた現状と課題	9
2 アンケート調査結果からみた現状と課題	13
3 社会情勢からみた地域の課題	18

第3章 計画の基本的な考え方

1 計画の基本理念	21
2 計画の基本的な視点	22
3 計画の基本目標	23

第4章 施策の体系と具体的な展開

1 施策の体系	27
2 施策の具体的な展開	28
基本目標1 地域における支え合い活動の推進	28
基本目標2 安心してサービスを利用できるしくみの充実	32
基本目標3 地域で安心して暮らすための支援体制の充実	35
基本目標4 市民意識の高揚と地域活動への参加の推進	40

第5章 計画の推進にあたって

1	計画推進の体制	45
2	進行管理と評価	65
3	市民への情報提供と計画への参画	65

資料編

1	アンケート調査の実施概要	69
2	羽村市地域福祉計画審議会条例	70
3	地域福祉計画審議会委員名簿	72
4	地域福祉計画審議会審議経過	73
5	第四次羽村市地域福祉計画策定委員会要綱	74
6	第四次羽村市地域福祉計画策定委員会委員名簿	76
7	第四次羽村市地域福祉計画策定委員会経過	77
8	用語解説	78